

様式第6号(第2条関係)

委員会等の会議録

1 会議名	第2回愛南柑橘営農環境改革推進協議会	
2 議題	(1) 柑橘加工施設整備に関する基本計画(案)について (2) 柑橘加工施設整備収支シミュレーションについて (3) その他	
3 開催日時	令和元年11月27日(水) 13時30分から16時00分まで	
4 開催場所	愛南町役場本庁 2階 第一会議室	
5 傍聴者数	0人	
出席者		
6 委員氏名	吉村 克己、河野 仁、吉田 浩、小野山 純平、酒井 眞理子、 尾崎 行弘、金繁 克則、松田 昌治、西崎 梅一、木村 勝彦、 菊池 和宏、橋本 孝之	
7 担当所属	所属名	農業支援センター
	担当職員 (職・氏名)	課長補佐 坂本 一利、地域おこし協力隊 中本 健仁、JA 駐在 源 良行
	所属名	農林課
	担当職員 (職・氏名)	課長補佐 池田 洋輔、係長 近平 高宜
8 その他の 出席者	所属名	愛媛県南予地方局 産業振興課 産地育成室
	出席者 (職・氏名)	専門員 玉井敬久
	所属名	愛南農業指導班
	出席者	担当係長 橋岡 源宗
	所属名	株式会社 IRC
	出席者	土岐 博史
議事内容(次ページから)		

発言者	発言内容
	<p>(開会あいさつ)</p>
	<p>議長挨拶</p>
<p>事務局 (近平、地域おこし協力隊 中本)</p>	<p>(議題1 柑橘加工施設整備に関する基本計画(案)について) 事務局より報告 愛南柑橘加工施設整備に関する基本計画(案)【第2版】により説明を行う。</p>
<p>吉村議長</p>	<p>説明があったように、農林課でこのような基本計画を策定しています。本協議会で内容を修正し、まとめ上げたいと考えています。意見はありませんか。</p>
<p>金繁委員</p>	<p>加工材料となる河内晩柑の買取単価が25円/kgから50円/kgに上がりました。寶酒造がチュウハイの原料として使っており評判も良いです。他の企業も参入する可能性があり、今後原料の調達が難しくなることも考えられます。</p> <p>販路開拓について、ローソン等のコンビニでの販売は難しいですか。また、(株)愛南サン・フィッシュも稼働していますが、最近の情報では稼働状況に課題があるとの話も聞きます。しっかりとした計画を立てて頂きたいと思います。</p>
<p>吉村議長</p>	<p>単価の問題もありますが、昨年実施した意向調査では51円/kgが買い取りの希望単価で、今回の収支シミュレーションを行う中で、この金額を使って計算したいと考えています。現在、加工品が無い状態で出口戦略が重要となる展開ですので、十分に考えて動いていきます。</p> <p>本町は素材を作る加工施設のため、果汁は寶酒造等のメーカーへの販売となりますが、まずは冷凍果汁など素材として販路を検討していきたいと思います。</p> <p>コンビニへの販売について、最近では自社でジュースにして販売するところもあるので、そういうところへも販売を仕掛けていきたいです。(株)愛南サン・フィッシュについては、お答えできませんが、商工観光課に営業戦略係もできましたので、農商工の連携でやっていきたいと思います。</p>

<p>地域おこし協力 隊 中本</p>	<p>コンビニについては、STEP02 の取組段階で検討したいです。冷凍果汁がすでに売られているので、そういう可能性もあるのではないかと考えています。</p>
<p>河野委員</p>	<p>年間稼働について、10、11、12 月の稼働がありませんが、この間は他の品種を考えたらどうですか。</p>
<p>吉村議長</p>	<p>河内晩柑が優先であります。今後の新品種も視野に入れながら儲けるところがあれば考えていきたいです。先ずは安定的な量の確保が問題となります。</p>
<p>酒井委員</p>	<p>搾汁機はキャタピラ式となっておりますが、どうなるのでしょうか。</p>
<p>近平高宜</p>	<p>愛工房のインライン搾汁で委託搾汁を行っている生産者も多いと思います。本施設では導入コストや果皮の活用も考えているためキャタピラ式搾汁を選定します。搾汁方式はプレスにより果汁をとり、ロータリースライサーという三枚おろしの要領で果皮も取得できます。</p>
<p>西崎委員</p>	<p>香りのイメージを活用することはできませんか。</p>
<p>吉村議長</p>	<p>香りについては売り物ではなく、町のブランディングにおいて戦略を立てていくことも考えています。南宇和高校の橋本教頭も前任の上浮穴高校でクロモジのオイル精製に携わっていたので詳しいです。販売になると、高額な機械も必要になってきますので、まずは出来る範囲で考えていきたいと思います。</p>
<p>橋本委員</p>	<p>(橋本教頭が試験的に精製された河内晩柑オイルサンプルを委員全員に紹介)</p>
<p>橋本委員</p>	<p>10 月中旬に南宇和高校の河内晩柑を活用し作成してみました。ピーラーで果皮の表面をとりました。白いワタが無い方が香りが良かったです。</p>
<p>酒井委員</p>	<p>アルコールは入っていないのですか。</p>
<p>橋本委員</p>	<p>入っていないです。オイルは揮発することにより香りを発するので、それが無くなるまで匂いは続きます。名刺につけたりす</p>

	れば非常に良いと思います。
吉田委員	町内外の法人から問い合わせがありました。ベルト式搾汁は良くないということを書いてくれという話がありました。加工をメインでやっている法人です。
吉村議長	視察など色々な加工施設で勉強もしました。果皮の活用もあるためベルト方式を採用したいと考えています。
吉田委員	冷凍果汁を買わないか？という話がありました。安い値段で話がありましたが、かなり売れ残っているようです。
吉村議長	なかなか売りにくいという話もありますが、そうでもないという意見もあります。
木村委員	エグミなどの味の評価はしているのですか。また、インラインで搾汁した時などの成分評価は行っていますか。
吉村議長	やっていませんが、今から戦略の中でやっていきたいです。
木村委員	エグミはとれるという話もありますが。
吉村議長	ズーメックスですぐに提供すればエグミはありませんでした。すぐに搾ったものはそんなに出ないのではないのでしょうか。
玉井専門員	じょうのう膜の成分が果汁と接することで、苦み成分が発生します。搾ってすぐにパルプ成分を分離させたり、冷凍すれば他のところと違う果汁を得ることが出来ると思います。産業技術研究所でもベルト方式の方がオーラプテンの含有率が高いという結果も出ています。
小野山委員	搾汁時において、果皮はどの工程で取得するのですか。
近平	搾汁後にスライスすることによって取得します。
吉田委員	地域商社として販売窓口ができるので、愛南ゴールドと生果も商標登録して売っていけばいいのではないのでしょうか。

吉村議長	商標登録で裁判をしている事例もあります。個人的には皆さんと競合しないようにしていきたいと考えています。
金繁委員	運営について生産者も出資とありますが、出資していないと生産者が利用できないということですか。
吉村議長	出資については今後検討しますが、町内の生産者であれば誰でも利用できるようにします。
小野山委員	余談になるかもしれませんが、既に実施された6次産業化協議会ではどのような動きがあるのか教えて欲しいです。
地域おこし協力 隊 中本	愛南町の6次産業化推進として戦略をつくらんとことをゴールとして会議は進んでいます。問題点を提示して方針をつくっている段階です。具体的な動きまでは出ていません。
菊池委員	営農指導連絡協議会で協力できることについて、加工用園地は少し採算性をあげるためには厳しいかなと考えています。労働費まで考慮するのか？どこまで考えるかで経費が変わってきますので愛南町と協議をしながら加工用園地の在り方を考えていきたいと思います。
吉田委員	河内晩柑のオーガニック系は厳しいと思います。新たな品種としてレモン等の方がいいと思います。維持するのに経営的にやっていけるのかということもあります。
吉村議長	2～3年間かけて考えていきたいと思っていますが、現状ではまだ検討はしていません。
松田委員	冷凍施設は造るのですか。
吉村議長	現在協議中です。金額や費用対効果を加味して必要性を考えていきます。
近平	旧御荘給食センターで考えるとスペースが限られますので、仮に出来たとしても50m ² 程度になります。それを超えるものについては外部委託を検討したいと考えています。
	(議題2 柑橘加工施設整備収支シミュレーションについて)

<p>菊池委員</p>	<p>(株)IRC 土岐氏より報告 収支シミュレーションに関する資料により説明を行う。</p> <p>園地管理費について人件費が計上されていないのではないですか。</p>
<p>(株)IRC 土岐</p>	<p>他の社員がローテーションすることによって、運営する形としているからです。</p>
<p>木村委員</p>	<p>労災保険はどこに含まれているのですか。</p>
<p>(株)IRC 土岐</p>	<p>人件費に含まれています。定率をかけています。</p>
<p>山本委員代理 (新井)</p>	<p>衛生管理の費用は含まれていますか。消毒や洗浄等にかかる費用は比較的発生すると思います。</p>
<p>(株)IRC 土岐</p>	<p>消耗品費に盛り込むように考えていきたいと思います。</p>
<p>小野山委員</p>	<p>愛南サン・フィッシュの冷凍庫を活用できればいいと思います。急速冷凍もありますし理想的です。</p>
<p>(株)IRC 土岐</p>	<p>色々な意味で繋がりをもっていくのは大切です。商品開発を含め検討を進めていきたいと思います。</p>
<p>玉井専門員</p>	<p>(議題3 その他について) (玉井専門員より愛媛県が実施している落果試験について紹介)</p> <p>東予の加工業者で2年前から取引もしています。しかし、価格や流通において課題が出ており、現状としては試験的な実施です。果汁についても利用できるかと考えています。酸度が高く生食は向かないがジャム等には活用できます。後期落果の有効利用について皆で考えていきたいです。</p>
<p>木村委員</p>	<p>裂果したものは使えませんか。</p>
<p>玉井専門員</p>	<p>問題として農薬の課題と、暑い時期の作業になるのでいい値段にならないと使えません。果汁もあまり入っていません。</p>

吉村議長	<p>(閉会あいさつ)</p> <p>貴重な意見ありがとうございます。これをもって第2回愛南柑橘宮農環境改革推進協議会を閉会したいと思います。</p>
------	---